

立命館生協BKC 生協総選挙



[平和]

取り組み概要

日時：11/22(月)～11/26(金)
場所：ユニオンスクエア1F通路
参加者数や組合員の反応：
5日間で約400人の組合員が参加。

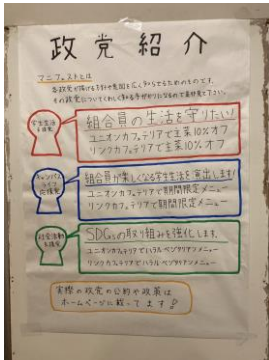
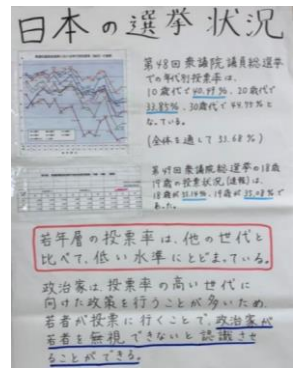
背景や概要：若者の政治参加率が少ないことや、選挙に行く必要性を感じていない学生が多いことから、店舗を用いて選挙体験をし、選挙の身近さを感じてもらう企画を実施した。

店舗を通して選挙を身近に

POINT.1 政治に目を向けるきっかけを

選挙について関心を持っている学生が少ない現状を受けて、選挙企画が実施されていました。企画は、選挙運動期間と投票期間が設けられており、実際の選挙のようなスケジュールで開催されていました。

選挙運動期間では、選挙についての理解を深めるためのポスターを掲示し、選挙参加率の現状と選挙に行くことの重要性を伝えていました。多くの人が目にしやすいポスターによって、若者が投票に行くことで政治へのアピールになることを知らせるような取り組みとなっていました。



POINT.2 自分の投票が自分の生活に影響

この企画では、組合員の生活を支援することを目的とした架空の政党を学生委員会を設定していました。どの政党も店舗のメニューに関わる政策を公表しており、選ばれた政党の政策は実現するようになっていました。

店舗を通して自分の生活に影響があることで、組合員が各党のマニフェストの良し悪しを自ら判断して投票するようになっていました。この企画が、参加した組合員にとって、自らが社会参画をすることの意義を考える機会となっていました。

POINT.3 選挙の模擬体験

投票期間では実際の選挙のように、投票用紙に記入し、投票する模擬体験ブースが設置されていました。

設定した架空の党を実際の党と見立てて選挙を行い、実際に衆議院議員総選挙で使われている小選挙区比例代表制を用いて参加者に投票してもらっていました。選挙に関する現状を伝えたいうえで、選挙が意外と簡単にできることを体感してもらうことで、選挙への参加を促すことができていました。

